

血液内科

【一般目標】

1. 血液疾患のみならず内科一般的な処置および治療ができるようになる。
2. 血液疾患の正確な診断および適切な治療、検査が可能となる
3. 患者を身体的のみならず心理的、社会的立場などあらゆる方面からとらえ評価、治療できるようにコミュニケーション能力、医師としての人格を磨いていく
4. 抗癌剤の効果や副作用など理解し適切に治療ができるようになる

【到達目標（行動目標）】

1. コミュニケーションを通じ、患者および家族と良好な人間関係を築くことができる。
2. 基本的な診療知識に基づき、患者および家族から診療に必要な情報を収集し、取捨選択して整理できる。
3. 身体診察を適切に実施し、所見を解析してその後の診療に必要な情報を収集できる。
4. 主要な症候を理解し、鑑別診断の原則に基づいて以後の診療の計画を立案することができる。
5. 血液内科領域で用いられる主要な検査について、概要、有用性、限界、危険性を説明し、結果を解釈できる。
6. 血液内科領域における主要疾患について、症候、病態、診断、治療を説明できる。
7. 収集した情報を基に、POMR<問題志向型診療記録>を作成できる。
8. 症例を要約する習慣を身につけ、状況に応じて適切な長さで提示することができる。
9. 診療に必要な知識・情報（MEDLINE やインターネット上で公開されている各種の診療ガイドライン等の電子化情報を含む）を、適切に検索・収集することができる。
10. 医療チームの構成や各構成員（医師、薬剤師、看護師、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制について説明し、チームの一員として参加できる。

【注意事項】

1. 端正な服装を心がけ、清潔な白衣を着用すること。
2. ネームプレートを付け、靴を履くこと（サンダルは禁止）。
3. 患者さんや他の医療スタッフと接する際には大人としての礼節を保ち、態度、言葉遣

広島赤十字・原爆病院

いに気を配ること。特に、患者さんと接する際には、実習に協力していただくことに対する感謝の気持ちを忘れないこと。

4. 守秘義務、個人情報の管理には常に留意し、患者さんのプライバシー保護にも気を配ること。また、予断や想像に基づく無責任な情報は決して伝えないこと。
5. 欠席、遅刻の場合は必ず届け出ること。
6. 実習初日の集合時間及び集合場所は、実習前週に「もみじの掲示版」で広島大学学生支援グループから通知するため、確認すること。

以後の集合時間及び集合場所については、各診療科指導医の指示を仰ぐこと。

【実習の内容】

1. 第1週の月曜日午前中にオリエンテーションを行う。
2. 第1週の月曜日に指導医を割り当てるので、以後は実習期間中、常時指導医と行動を共にすること。指導医の受け持つ患者と一緒に診療し、主治医団の1人として入院から退院までの医療に参加すること。具体的にどのような診療行為を行うかは、逐一指導医の指示を仰ぐこと。
3. 病歴聴取や診察で得た所見、また、その後行われた検査の結果や今後の治療方針など、主治医がカルテに記載すべき事柄については、すべて学生用の紙カルテに記載すること。これは医師が実診療に使うカルテ（電子カルテ）とは別物であるが、主治医として実際に診療用のカルテを書いているつもりで、すべての情報を漏らさず正しい書式で記載すること。
4. 水曜日の回診の際には、患者の概要と現在の治療の進行状態を簡潔に指導医に提示すること。また、月曜日と木曜日のカンファレンスでは既定の時間内で発表できるよう患者情報をまとめ、事前に準備しておくこと。

【当科の週間スケジュール】

	行事、等	担当	場所	時間
月	オリエンテーション（第1週） 症例カンファレンス 病棟管理	医員	外来3診 東棟5階共用カンファレンス室 病棟	9:00-10:00 17:00-18:00
火	病棟管理	医員		18:00-19:00

広島赤十字・原爆病院

水	病棟管理	医員		19:00-20:00
木	病棟管理	—		
金	病棟管理 試問（第4週）		医局	12:00-13:30 14:00-17:00

【評価】

学生の評価は以下のように行う。

評価項目	配点
指導医による学生の行動内容の評価	30点
回診での患者提示のでき具合	10点
カンファレンスでのプレゼンテーション	10点
学生用カルテの内容	10点
ポートフォリオの内容	20点
試問	20点

【実習指導医】

板垣医師

医局員